

令和5年度 香芝市バリアフリー教室の開催

1. 開催概要、学習内容

(1) 開催日時及び開催場所

	日時	場所
令和5年度 香芝市 バリアフリー教室	令和5年10月31日(水) 9:35~12:10	香芝市立 関屋小学校

(2) 対象者

香芝市立 関屋小学校 小学3年生 69名

(3) 学習内容

① 2班に分かれ、以下の2つのコースを順番に体験

学習内容	
車いす体験	利用体験
	介助体験
視覚障がい 疑似体験	アイマスク、白杖を使用した疑似体験
	介助体験

② 児童全員での講義形式の学習

学習内容	
講義	心のバリアフリーについて
盲導犬歩行デモ	盲導犬ユーザーの歩行を見学
体験談	当事者の方が生徒からの質問回答や体験談

(4) 主催

香芝市

(5) 協力

国土交通省 近畿運輸局

社会福祉法人 香芝市社会福祉協議会

香芝市身体障害者福祉協会

視覚障がい者の仲間 光友会

2. 当日の様子

(1) 講義の様子



(2) 車いす体験の様子



(3) 視覚障がい疑似体験の様子



(4) 盲導犬ユーザーによるデモンストレーションの様子



(5) 体験談の様子



3. バリアフリー教室アンケート集計結果

終了後、参加した児童を対象に、アンケートを実施しました。

バリアフリー教室で車いす体験や視覚障がい疑似体験などの体験学習、盲導犬ユーザーによる歩行デモンストレーションの見学、体験談、講義を通じて障がい理解につながり、相手の立場に立ち、まわりを思いやる心が育まれました。困っている人を見かけたら、「お手伝いしましょうか？」と声をかけたいとの回答が多くありました。

※割合は、端数処理(小数点第2位四捨五入)により合計が100%にならない場合があります。

問1 今日の授業でお話した内容は分かりやすかったですか？

わかりやすかった	ふつう	むずかしかった
31名 (47.0%)	32名 (48.5%)	3名 (4.5%)

問2 今日の授業を受けて、すぐに「やってみよう！」と思ったものはありますか？(複数回答可)

障がいのある人の気持ちになって考えたい。	37名 (56.1%)
困っている人を見かけた時には「お手伝いしましょうか？」と声をかけたい。	44名 (66.7%)
今日学んだお手伝いの方法などを家族やお友達に伝えたい。	35名 (53.0%)
その他(自由記述)	2名 (3.0%)

問3 今日の授業でお話した「心のバリアフリー」を広げるためには、どのようなことが必要だと思いますか？(自由記述)

※ 回答が多かった内容を抜粋・集約。※ 複数の内容を書いている回答は記載内容ごとにカウントしています。

1 「お手伝いしましょうか？」と声をかけたり、お手伝いしたりする【39名(59.1%)】

- こまっている人を見つけたら「おてつだいしましょうか」と声をかけてから手伝う。
- 言葉をかけあう。
- 手伝う気持ちをもつ。困っている人の立場で考える。

また、上記のようなことをみんなで取り組むのがよい(10名、15.2%)という回答も一定数ありました。

2 バリアをなくす、点字ブロックに荷物を置かないなどの対策【11名(16.7%)】

- ・ 点字ブロックにはモノを置かない。
- ・ ユニバーサルデザインを実現する。
- ・ できるだけバリアをなくす。

3 バリアフリー教室や心のバリアフリーについて、伝える【6名(9.1%)】

- ・ 今日聞いたことを広める。
- ・ 家族や友達に教える。
- ・ みんなに「心のバリアフリー」を広げる。

問4 今まで車いすを使っている人のお手伝いをしたことがありますか？

ある	ない
6名 (9.1%)	60名 (90.9%)

問5 今日の授業を受けて、車いすを使っている人のお手伝いの方法はわかりましたか？

よくわかった	わかった	わからなかった
39名 (59.1%)	25名 (37.9%)	2名 (3.0%)

問6 今まで目の不自由な人のお手伝いをしたことがありますか？

ある	ない
1名 (1.5%)	65名 (98.5%)

問7 今日の授業を受けて、目の不自由な人のお手伝いの方法はわかりましたか？

よくわかった	わかった	わからなかった
41名 (62.1%)	23名 (34.8%)	2名 (3.0%)